

2024年度 事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人あなたのくうかんおおい

1 事業の成果

2024 年度は、理科フリースクールマイムの将来にわたる事業継続に向けた準備の年として、「財政的基盤づくり」と「NPO 継続に向けた人材の確保」に取り組み、それぞれに具体的な成果を得ることができた。

まず、「財政的基盤づくり」では、①利用定員数の確保と、②助成金の獲得を目指した。中高生を対象とする「理科フリースクール」は、定員 10 名を目標としたが、7 名の在籍にとどまった。一方、小学 5・6 年生向けの「マイム科学創楽クラブ」は、5 名の定員目標を掲げ、こちらは予定通り実施できた。助成金は、特例認定 NPO 法人の取得条件となる「2 事業年度において、収入に占める寄附金の割合が 20%以上」という基準を意識しながら取り組んだ。その中で、昨年度申請していた「キリン・地域のちから応援事業」に加え、「ろうきん助成金」が新たに採択され、さらに企業寄附プラットフォームを通じて外資系企業から 4 件の寄附、そして団体正会員として西日本電線株式会社よりご支援をいただくことができた。

次に、「人材の確保」では、①アルバイトやボランティアの確保と、②地域との交流に力を入れた。人的支援では、大学生アルバイト 1 名、高専生アルバイト 2 名、ボランティア 7 名を確保し、いずれも目標通りの体制を整えることができた。

地域交流の面では、幼児向けの活動「さわたり先生の科学あそび! in リトル・ママおおいの BASE」の事前見学を行ったうえで、大分市内のこども園にて「マイムのドキドキ科学発見 in 保育園」を開催した。準備段階からマイムの卒業生である高校生がボランティアとして関わってくれた。また、大分出身でラスベガス在住の小中学生との交流や、外資系 IT エンジニアによるボランティアとしてのプログラミング講座 (全 7 回) も実施できた。

課外活動としては、TASKO つくる展の見学、ソニー・太陽のインクルージョンワークショップ、工房マリーアンでの彫金体験、豊後ロハス見学、市議会傍聴と議員との懇談、エコリオの見学、別府大学での実験、聴覚障害者センターによる手話講座、大学のボードゲームサークルとの交流、高山活版社様での見学・体験など、さまざまな機会を生徒に提供することができた。

マイム独自の活動としても、オオツカさんの実験マニア (7 回)、フルタさんのゆらぎの時間 (2 回)、カジタさんのマイコン講座 (5 回)、スポーツタイム (11 回)、親マイムカフェ (2 回)、夏と冬のゲームイベントや卒業生との交流会、そしてマイム数学友の会 (1 回)、春の保護者親睦会 (1 回) などの活動を実施した。

なお、2024 年度のスクール生の進路としては、県立高等学校通信制に 1 名、私立高等学校に 1 名、私立通信制高等学校に 2 名が進学した。また、理科フリースクールマイムは、別府市の「フリースクール等利用児童生徒支援補助金制度」において正式に認証を受けることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 千円)
①既存の学校教育になじまない不登校の子どもや発達障がいの子どもの可能性のある子ども等に対する科学的素養の育成事業	理科フリースクールマイム	(A) 月・火・木・金の 10~16 時 (B) 理科フリースクールマイム (C) 専任 1 人, アルバイト 1 名, ボランティア 4 人	(D) 中学生 (E) 7 人	2,740
	マイム科学創楽クラブ	(A) 隔月 1 回土曜日の 10~15 時 (B) 理科フリースクールマイム (C) 専任 1 人, アルバイト 2 名, ボランティア 3 人	(D) 小学校 5・6 年生 (E) 5 人	
②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	なし	・本事業年度は、実施予定なし	-	0
③前各号に掲げるもののほか、当法人の目的を達成するための必要な事業	なし	・本事業年度は、実施予定なし	-	0